

# 平成26年度 予算特集号

広報  
Ako City  
Public  
Relations



2014  
Special Number  
平成26年4月10日発行



「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る  
やさしいまち」を目指して

赤穂東中学校1年生が手作りのおもちゃを持って  
校区内の幼稚園、保育所を訪問(2/28 尾崎保育所)

- 平成26年度当初予算総額 534億5,796万円 ..... P 2~3
- 平成26年度一般会計当初予算総額 229億3,000万円 ..... P 4~5  
市民ひとりあたりの予算額
- 5本の柱ごとの主要施策 ..... P 6~15
- 写真でみる予算 ..... P 16

●各会計別予算額

会計区分	平成26年度当初予算額	平成25年度当初予算額	前年度比 (%)	
一般会計	229億3,000万円	214億5,000万円	6.9	
特別会計	国民健康保険事業	56億6,600万円	57億300万円	△ 0.6
	職員退職手当管理	6億540万円	6億820万円	△ 0.5
	公共下水道事業	43億4,350万円	52億970万円	△ 16.6
	農業集落排水事業	3億180万円	2億8,670万円	5.3
	墓地公園整備事業	1,190万円	1,190万円	—
社会	介護保険	36億9,920万円	35億7,330万円	3.5
	駐車場事業	1億2,340万円	1億2,190万円	1.2
計	土地区画整理事業清算金	—	120万円	皆減
	後期高齢者医療保険	6億4,340万円	6億1,670万円	4.3
	小計	153億9,460万円	161億3,260万円	△ 4.6
企業会計	病院事業	125億3,175万円	109億6,947万円	14.2
	介護老人保健施設事業	3億5,747万円	3億2,980万円	8.4
	水道事業	22億4,414万円	18億8,828万円	18.8
	小計	151億3,336万円	131億8,755万円	14.8
	合計	534億5,796万円	507億7,015万円	5.3



「人が輝き 自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」を目指して

私が市長に就任してから、11年余が経過し、3期目の任期も最終年を迎えましたが、この間、議員各位をはじめ、多くの市民の皆様の温かいご支援とご協力をいただきながら、「元気で魅力あふれる将来にわたって輝き続けるまち」を目指し、市政発展と市民の幸せづくりのため、全力を傾注してまいりました。

特に、市政運営にあたりましては、常に市民目線に立った公平で公正な「市民本位の市政」の推進に、誠心誠意取り組んできたところであり、今後もぶれることなく市政運営にあたっていきます。

現下の社会経済情勢のもと、今後の市政運営にあたりましては、市民の皆様との対話と交流による市民参加の市政の推進に一層努めてまいりますこととし、引き続き「子育て支援対策」、「地域活性化対策」、「安全・安心対策」の3点を重点として、市民の視点に立ったきめ細やかな施策を展開し、誰もが「住んで良かった 住み続けたい 住んで魅力あふれる赤穂のまちづくり」を目指して、総合計画の都市像であります「人が輝き 自然と歴史・文化が薫る やさしいまち」の実現に全力で取り組んでまいります。



平成26年第1回赤穂市議会定例会において、新年度予算案をはじめとする諸議案が成立しました。2月24日に豆田市長が表明した施政方針に沿って、主要な施策の概要と予算のあらましについてお知らせします。

重点施策・その1  
子育て支援対策

本格的な人口減少、少子高齢化が進展している中、安心して子どもを産み育てることができ、環境を整え、家庭、地域、企業などが一体となって、次の時代を担う子どもたちがすこやかに育つ社会づくりを進めていかなければなりません。このため、後期5か年の赤穂こどもプランに基づき、多様化する子育てニーズに対応できる支援施策を包括的・体系的に推進します。子育て支援策の一環として、

昨年度実施したニーズ調査の結果や子ども・子育て会議の意見を踏まえて、「子ども・子育て支援計画」を策定するほか、引き続き妊産婦健康診査費や乳児健康診査費及び特定不妊治療費、出産費の助成を行い、妊娠・出産に係る経済的負担の軽減を図ります。

子育てしやすい環境の整備として、幼稚園での預かり保育については、すべての幼稚園において、引き続き午前7時30分からの早朝保育、預かり時間の午後6時までの延長、春季、夏季及び冬季の長期休業日における保育を実施するほか、保育所での延長保育や一時預かり事業、乳児保育事業等についても引き続き実施します。

なお、多様化する保育ニーズと保育士不足に対応するため、新たに就労していない保育士資

重点施策・その2  
地域活性化対策

地域の活性化を図るためには、地域産業の振興と雇用機会の創出やにぎわいづくり、地域特性を生かした定住・交流の推進を支援する各種施策の展開が必要です。

企業誘致については、市内経済の一層の活性化と企業留置による雇用の安定・創出を図るため、緑地面積率等の緩和制度を活用した市内企業による新たな設備投資の促進に積極的に取り組みます。

また、工場立地促進条例の一部を改正し、工場設置奨励金及び雇用奨励金の支給に係る特例措置を3年間延長して、立地企業に対する支援策の継続を図ります。

さらに、市内事業所への就業

拡大を図るため、雇用奨励金交付事業の対象を新規高卒者から新規中卒者まで拡大するほか、住宅リフォーム助成事業についても、助成金の限度額を引き上げるなど、市内産業の活性化と雇用の場の確保に努めます。

定住自立圏構想の推進については、圏域住民の皆様の移動手段の確保と利便性の向上を図るため、圏域バスで「いじゅうろう」の本格運行を実施するなど、共生ビジョンに掲げられた事業について、圏域市町との連携も積極的に推進します。

また、本市への定住を希望する人たちに支援するため、引き続き「転入者定住支援金の交付や新婚世帯に対して賃貸住宅の家賃の一部助成を行い、市内外の若者世代の本市への定住を促進するほか、主に関東地域で活躍さ

れている赤穂市ゆかりの方々との情報交換及び交流を図るため、新たに「東京あこうのつどい」を開催し、本市の情報と魅力を発信します。

また、10月には、「赤穂国際音楽祭」を本年度も姫路国際音楽祭との共同で開催することとし、一層充実した音楽祭として、国内外の多くの人々との文化交流を図るとともに、赤穂の名を世界に向けて発信します。

さらに、11月には、第4回目となる「赤穂シテイマラソン大会」を開催するなど、スポーツ

を通じての交流も積極的に推進するとともに、昨年供用開始した赤穂海浜公園東側の赤穂元緑スポーツセンターをはじめ、本年度は同公園北側の赤穂海浜スポーツセンター施設整備工事に着手するなど、赤穂海浜公園を核としたスポーツ・レクリエーション拠点としての機能向上を図ることによって、スポーツによる元気なまちを目指します。

観光振興については、赤穂観光アクションプログラムに基づき、関係機関と連携しながら、

多彩なイベント等を実施するほか、新たに観光周遊バスを名称変更し、「陣たくん号」として運行するとともに、観光マスコットキャラクター「陣たくん」を活用したPR活動を積極的にを行い、観光客の増加と交流人口の拡大につなげる取り組みを進めます。

また、平成26年度の義士祭については、日曜日開催となることから、定着してきた忠臣蔵ウィーク事業との連携を図りながら、前夜祭では天守閣イルミネーションなどに加え、プロジェクトシンポジウムを取り入れ充実を図るとともに、当日はいきつき広場に観覧席を設置し、昨年好評をいただいた著名人を含めた義士行列などにより、盛大に開催したいと考えています。

さらに、地域振興策の一環として、新たに市内の3店舗以上が合同で実施するイベントに助成するほか、食の赤穂まるごとフェスタ事業、赤穂情報物産館開設事業など、中心市街地のにぎわいを創出するための支援を行うとともに、引き続き稲作体験農園の設置や地場農産物の直売イベントの開催支援などによる地産地消推進事業を実施し、地域のにぎわいと活力の創出に努めます。

重点施策・その3  
安全・安心対策

最近、従来の経験やデータが通用しない風水害が発生し、近い将来には山崎断層帯地震や南海トラフ巨大地震などの発生も懸念されており、これらの自然災害に加えて、新型ウイルスによる新たな感染症の発生など、あらゆる危機に備えて防災体制や危機管理体制の強化を図る必要があります。

防災対策については、地震津波、風水害等の自然災害から、市民の生命、身体を守るため、防災行政無線の本体工事に着手し、迅速・的確な情報伝達体制の整備を図るほか、引き続き各種気象情報等を迅速に伝達する「ひょうご防災ネットワーク」を運営するとともに、地震・津波対策に関する国・県の指針に基づき、地域防災計画の改定を進めます。

また、大規模地震発生時ににおける児童生徒の安全確保と防災拠点としての機能向上を図るため、小学校、中学校の校舎等について引き続き耐震対策補強工事を実施するほか、平成27年度中の市内全小・中学校耐震化に向けた実施設計についても計画的に推進します。なお、幼稚園

舎については、耐震診断の結果を受けて、赤穂西幼稚園をはじめ、4幼稚園において耐震対策補強工事を実施するほか、赤穂幼稚園、塩屋幼稚園及び尾崎幼稚園については、耐震補強が困難であることから、改築に向けた実施設計を行います。

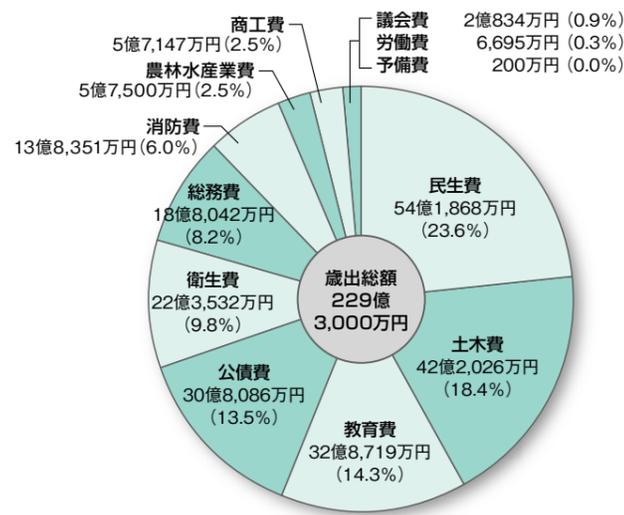
さらに、大規模地震発生に備えて、小・中学校における屋内運動場照明器具などの落下防止のため、非構造部材耐震対策に向けた実施設計を行います。

また、新たに全小学校に雨水貯留タンクを設置するとともに、市民が設置する際の助成制度を創設し、雨水の流出抑制と水環境意識の高揚を促します。

日常生活の安全・安心対策としては、都市公園の遊具の整備を行うほか、小・中学生を対象に心肺蘇生法等の知識・技術を習得させるための救急教室の開催や防災・防犯教育などを実施します。

# 歳出 >>>

歳出面では、人口減少社会に的確に対応するため、「子育て支援対策」、「地域活性化対策」に係る施策について、重点的に配分するとともに、東日本大震災等の災害を教訓とした防災対策の推進等、「安全・安心対策」に係る施策についても重点的な配分を行いました。

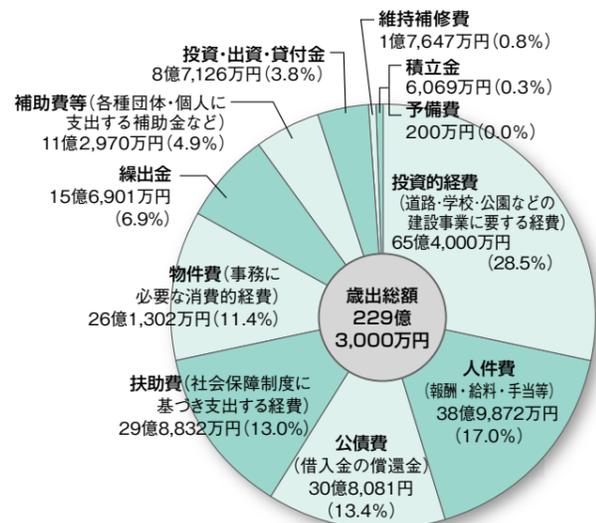


## 目的別内訳

各行政目的別、つまり各部課ごとの仕事の内容によって分類され、これにより各部課ごとの経費の比重を知ることができます。

## 性質別内訳

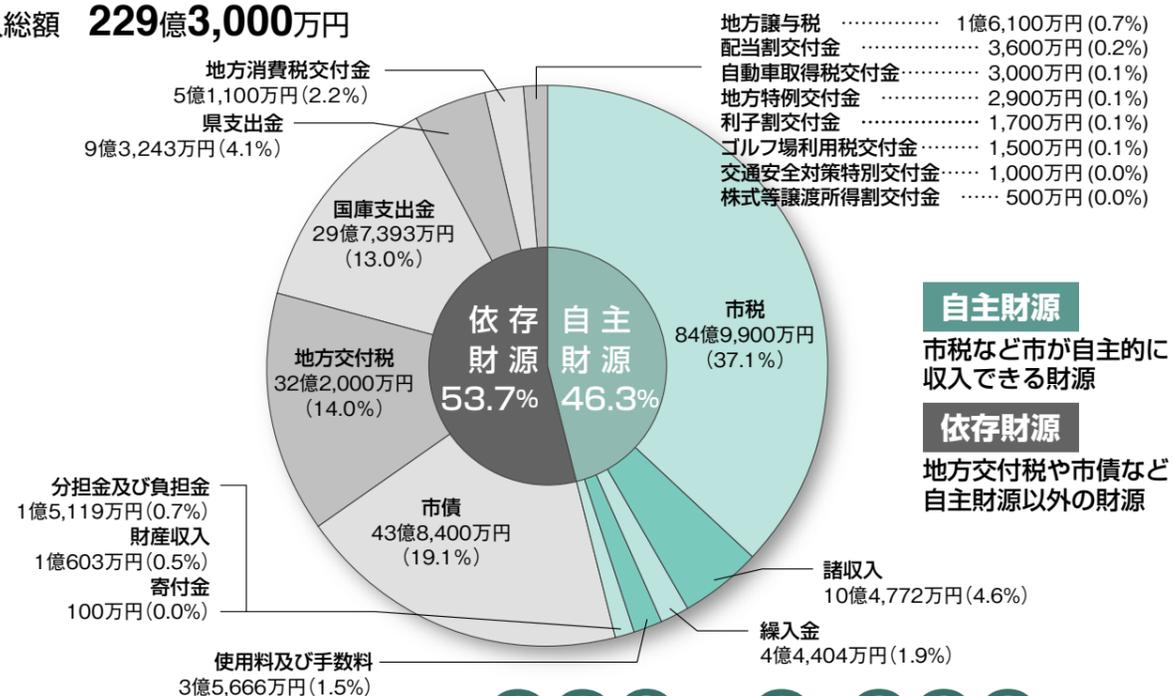
経済的性質を基準として分類され、これにより経費の構造や財政体質を知ることができます。



# 歳入 >>>

歳入面では、景気動向による市税及び各種交付金の若干の増収が見込まれるものの、地方交付税に臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税総額の大幅な減額などにより、一般財源の伸びが見込めないなど、引き続き厳しい財政状況であり、財政調整基金や健康管理施設整備基金などの基金から3億8,600万円を繰り入れることにより財源を確保しました。

## 歳入総額 229億3,000万円



### 自主財源

市税など市が自主的に収入できる財源

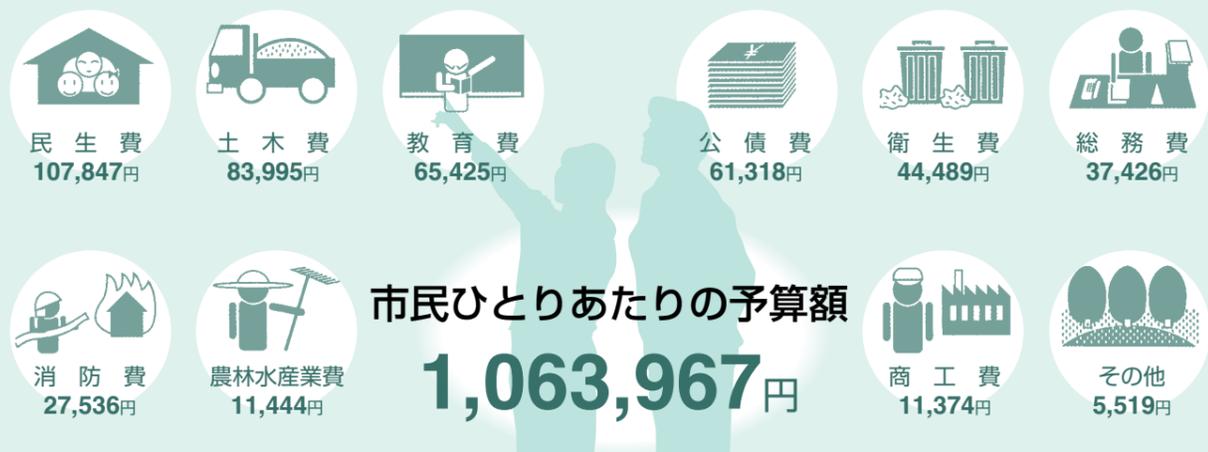
### 依存財源

地方交付税や市債など自主財源以外の財源

# 229億3,000万円

## 平成26年度 一般会計予算

### 一般会計 456,373円

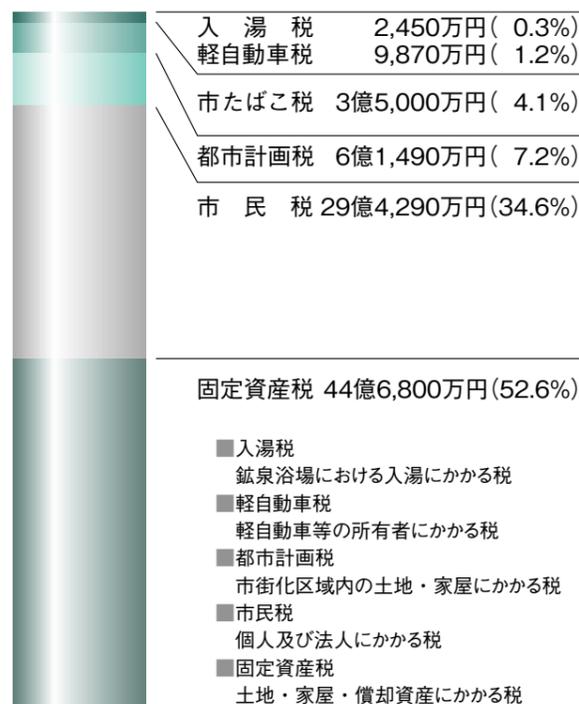


### 特別会計・企業会計(抜粋) 607,594円

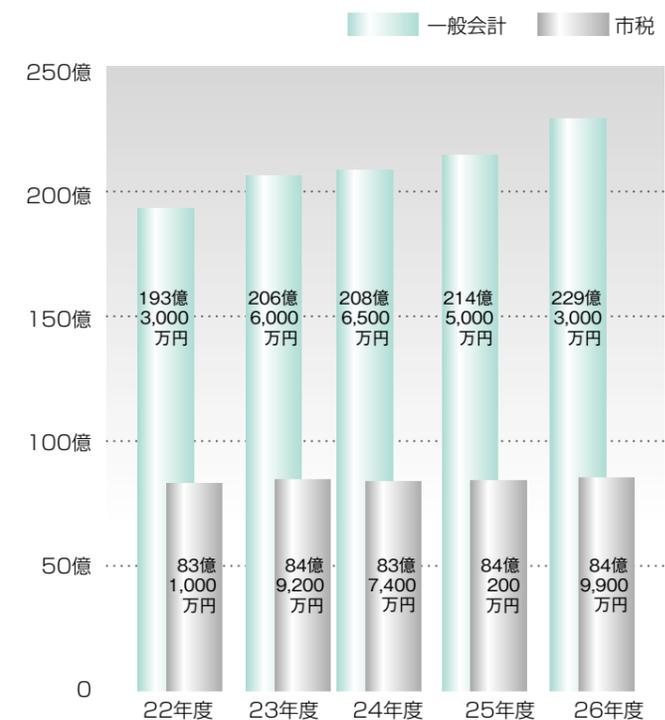


(平成26年2月末現在の人口50,244人で計算したものです)

### 市税の内訳 総額84億9,900万円



### 年度別当初予算額と市税の推移



# 5本の柱ごとの主要施策

「人が輝き 自然と歴史・文化が薫るやさしいまち」を実現するための市政の5つの柱、「安全・安心に生活できるまち」「自然と共生する住みよいまち」「産業と交流が盛んな活力あるまち」「生涯にわたり夢を育むまち」「市民と行政がともに歩むまち」に沿って順次ご紹介します。



## 第1の柱

### 安全・安心に生活できるまちづくり

#### おもいやりに満ちた福祉社会の構築

本市の高齢化率は、平成26年1月末で27・7%となり、少子高齢化が急速に進展する中、次の時代を担う子どもたちや高齢者、障がい者をはじめ、すべての市民が住み慣れた地域で支え合いながら、安心して暮らせる「ユニバーサル社会の実現に向け、すべての人にやさしいまちづくりを進めることが求められています。

このため、地域福祉計画に基づき、総合的な福祉施策や地域で相互に助け合う地域福祉活動を推進し、社会福祉協議会や関係機関、福祉団体等との連携を深め、市民の皆様の自主的な参加をいただきながら、地域福祉力の向上に努めます。

また、人にやさしい福祉のまちづくりを推進するため、引き続き市道の段差解消や赤穂城跡内の園路改修などを実施します。

児童福祉については、安心して

て子どもを産み育てることができ、すこやかに成長できる環境を整備します。

このため、延長保育や乳児保育、一時預かり事業などの保育サービス、またアフタースクール継続実施をはじめ、東中学校区に赤穂東児童館を新設し、4館の児童館の運営を行うほか、児童虐待防止のための啓発を継続して行うとともに、子育てバリアフリー化事業、幼児2人同乗用自転車購入助成なども引き続き実施します。

母子家庭等への支援策として、母子家庭高等技能訓練促進事業や自立支援教育訓練給付事業を実施し、引き続き就業支援を行います。

障がい者福祉については、障がい者福祉長期計画に基づき、体系的に推進するほか、介護給付や訓練等給付などの障がい福祉サービスの提供、地域生活支援事業として相談支援や日常生活用具の給付、地域活動支援センターへの事業補助などを行うとともに、第4期障がい福祉計画を策定し、障がい福祉サービス提供体制の整備を図ります。

心身障害児療育事業については、言語聴覚士を正規職員として配置し、言語指導・機能訓練などの専門的指導の充実を図る

とともに、西播磨療育事業との連携にも努めます。

高齢者福祉については、介護を必要とする方が、適切な介護サービスを受けられるよう環境整備を進めるとともに、高齢者等が要支援・要介護状態にならないよう地域包括支援センターと在宅介護支援センターとの連携により、筋力向上トレーニングなどの介護予防事業を推進し、生活機能低下の早期発見早期対応を図ります。

また、生きがいデイサービスやホームヘルプサービスなどの介護支援事業のほか、あんしん見守りキーホルダー登録事業、自立支援配食サービス及び緊急通報システム事業などの地域支援事業も実施します。



さらに、高齢者を見守る支えるネットワーク推進事業を引き続き実施し、住み慣れた地域における支え合い体制の整備を図ります。

国民健康保険制度については、急速な高齢化の進展、疾病構造の変化や医療技術の高度化等により、医療費は高い水準で推移しており、その財政運営は、依然として厳しい状況が続いています。

本年度の国保財政は、医療費の算出に当たり、被保険者数の推移、医療費動向等を考慮したものとされています。なお、保険税については、被保険者間における保険負担の公平確保の観点から、課税限度額を引き上げる一方で、中・低所得者層の負担軽減のために医療分の所得割税率を引き下げることにしています。

一人当たり医療費は、依然として県下では高い水準にあることから、医療費抑制の対策として、特定健康診査等事業の実施による生活習慣病の予防対策を行うとともに、第2期特定健康診査等実施計画の着実な推進などにより、健診受診率の向上を図り、被保険者の健康増進に努めます。さらに、後発医薬品の使用を引き続き促進し、医療費

の適正化対策を推進します。

また、保険税収納率向上対策の一環として、納税相談の実施や短期被保険者証などの発行を通じての面談等により、国保事業への理解と納税意識の高揚を図り、国保財政の健全化・安定化に努めます。

介護保険制度については、本年度は第5期介護保険事業計画の最終年度として、適切な事業運営を行うとともに、第6期介護保険事業計画を策定します。

後期高齢者医療制度については、兵庫県後期高齢者医療広域連合と連携し、保険料の徴収、各種申請の受付等、市民の皆様との窓口としての役割を果たします。

福祉医療費等助成制度については、乳幼児から中学生までの医療費をはじめ、高齢者や障がい者など、すべての市民が適切な医療を受けられるよう医療費への助成を行います。

生活保護受給者に対しては、引き続き就労支援相談等を行うための就労支援員を配置し、社会的自立及び生活自立への支援を行います。

人権文化の創造については、女性・子ども・高齢者・障がいのある人・外国人・同和問題な

どのあらゆる差別や、人権問題を解消するための教育・啓発活動に取り組み、市民一人ひとりが、すべての人の人権を尊重する社会の構築に努めます。

## 保健・医療サービスの充実

生涯にわたる健康づくりの推進については、予防活動の充実、指導・啓発事業の推進、健康づくり推進体制の強化に努め、関係機関と連携しながら健康への意識啓発を図り、ライフステージに応じたきめ細やかな健康づくりを推進し、疾病の予防と早期発見に努めます。

このため、生活習慣病予防を目的とする特定健康診査や積極的支援・動機づけ支援などの保健指導を継続して実施します。女性のがん検診及び大腸がん検診については、引き続き特定年齢層に無料クーポン券を配布するほか、新たに過去の女性のがんと無料クーポン券配布者への個別通知を実施するなど受診率の向上に努めます。

また、母子保健対策として、母子健康手帳に父親の育児参加と成人までの健康記録を加えた親子健康手帳の配布を開始するほか、引き続き育児健康支援事業などを実施し、法定の健康診

査との連携により、妊産婦や乳幼児の疾病の早期発見、早期治療に取り組みます。

さらに、感染症予防対策として、肺炎球菌や風しん予防などのワクチン接種費用の一部または全部を助成します。

なお、食育の推進については、「赤穂食育フェア」の開催などによる食育の普及・啓発及び実践的な取り組みを展開します。

施設整備については、健康づくりと子育て支援機能を含む赤穂すこやかセンター（仮称）の建設に向けて実施設計などを行います。

病院事業については、2年に一度改定される診療報酬が率にして0・1%とわずかにアップとなりましたが、消費税率の引上げにより、実質的には1・26%の6年ぶりのマイナス改定となりました。

4月から若い常勤医師が増える見込みとなっていますが、常勤医師不在診療科の解消を果たすことができず、全国的な医師不足の影響を受けて診療科によっては医師の偏在が目立つ状況となっています。

看護師においても7対1看護体制取得を目指し、様々な取り組みを進めているところでありますが、その確保も充分でないこと

から、1病棟休床は継続せざるを得ない状況となっています。

このような状況ではあります。このような状況ではあります。医療レベルを向上すべく昨年12月に策定しました「第二期基本構想」を早期実現するため、基本設計、実施設計を行うとともに、立体駐車場を整備するなど、「医師にも患者様にも選ばれる病院づくり」を進めます。

さらには、放射線治療計画システムなど高度医療機器の整備や節電効果を高めるLED照明器具への切替工事を引き続き実施します。

介護老人保健施設事業については、入所利用者の減員、消費税率引上げによる経費の増加など厳しい経営状況ではありますが、市民病院との連携を強化し、リハビリテーションを中心とし



た医療、介護サービスの充実に、在宅復帰支援に向けた取り組みを進めます。

また、入所利用者の安全対策を図るため、食堂の2階への移転及び屋外非常階段の改修に向けての基本設計、実施設計を行い、利用者には選ばれる施設の整備に取り組みます。

## 生活の安全・安心の確保

台風や集中豪雨、地震・津波などの自然災害や火災などから市民の生活を守るためには、被害の拡大を抑え、被災した社会を早期に安定させる「減災」への取り組みと危機意識の高揚が重要です。

さらに、今日では自然災害だけでなく、新型コロナウイルスによる

## 施政方針にみる新年度の主要施策と予算のあらまし

# 施政方針にみる 新年度の主要施策と 予算のあらまし

照明による公共灯の設置を促進するとともに、特に、子どもたちの安全確保のため、引き続き小学校新1年生に防犯ブザーを



命講習会の開催や「赤穂安全・安心ステーション」の拡充に努めます。  
洪水等の治水対策については、県との連携により千種川や加里屋川、矢野川の護岸整備などを推進します。  
次に、交通安全対策については、市内の防護柵やカーブミラーなど交通安全施設の整備を、危険箇所や通学路を中心に進めるほか、関係機関の協力を得ながら、あらゆる機会を通じて、交通マナー遵守への呼びかけ運動などの交通安全運動や交通事故防止運動を推進します。

防犯対策については、LED照明による公共灯の設置を促進するとともに、特に、子どもたちの安全確保のため、引き続き小学校新1年生に防犯ブザーを

「環境進化都市・赤穂」の実現に向け、市民・事業者・行政が一体となって、持続可能な環境づくりにより自主的・積極的に取り組むことが必要です。

## 自然と共生する まちづくり

## 第2の柱 自然と共生する 住みよい まちづくり

配布するほか、スクールガイドリーダーの配置や携帯メールによる保護者への不審者情報の提供を行います。  
消費者対策としては、消費生活センターを核として、消費者の安全と利益を守るため、引き続き消費生活相談員の配置や啓発講演会を開催するなど、消費生活相談や啓発体制の充実に努めます。  
また、消費者協会と連携しながら、消費者学習活動やリサイクル運動など、消費生活向上につながる活動を積極的に支援します。



ていくために、積極的な情報提供や啓発活動に努めるとともに「赤穂子どもエコクラブ」を開催し、環境学習の場を提供します。

また、事業者が計画している福浦地区最終処分場設置計画については、現在、県条例に基づく手続きの段階ですが、赤穂市の豊かな自然環境や健全な生活環境の保全を図るため、市民の皆様の見解等も踏まえて適切に対応する考えであります。  
生活環境の整備については、公共下水道整備として、有年地区などにおける土地区画整理地の雨水及び汚水管渠等の整備や御崎ポンプ場の改築工事、下水管理センター電気設備の更新などを行うほか、特定環境保全下水道整備として中継ポンプ場

また、ごみリサイクルシステムの推進については、引き続き生ごみ処理機の購入助成や資源ごみ回収団体への助成を行うほか、新たな使用済小型家電の回収にも取り組むなど、更なるごみの減量、資源化に努めます。  
また、新たに雨水貯留タンクの流出抑制及び良好な水環境に対する市民意識の高揚を促します。  
なお、平成26年度末には、生活排水供用面積は1,572.7ha、人口普及率は99.6%となる見込みです。  
地球温暖化対策については、引き続き家庭や学校、職場などで身近に取り組めるグリーンカーテンを推進するとともに、住宅用太陽光発電システムを設置する家庭に対して、費用の一部を助成するほか、庁舎の一部にLED照明器具の設置、庁用車等へのハイブリッド車の導入も進めます。また、高雄小学校に発電量20kWの太陽光パネルを設置するなど、低炭素社会に向けた取り組みを推進します。  
ごみ処理施設の整備については、施設の延命化と処理効率の向上を図るため、3年計画の第2年次目として、ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設の大規模改修を実施します。  
また、ごみリサイクルシステムの推進については、引き続き生ごみ処理機の購入助成や資源ごみ回収団体への助成を行うほか、新たな使用済小型家電の回収にも取り組むなど、更なるごみの減量、資源化に努めます。

住環境の整備については、尾崎地区の密集住宅市街地整備促進事業において、児童遊園への防火水槽設置や道路整備を行うほか、塩屋地区の地域住宅等整備事業において、地区内の道路の拡幅整備に向けた用地取得や物件移転補償を実施し、防災対策の促進に努めます。  
公営住宅の環境整備としては、市営住宅長寿寿命化計画に基づき、塩屋団地、塩屋西団地及び千鳥団地の施設整備工事を実施します。  
水道事業については、「歴史ある上水道を次世代へ」を基本理念として昨年度に策定した「赤穂市水道ビジョン」に基づき、事業を着実に推進します。  
上水道の整備としては、安全で良質な水を安定的に供給していくため、浄水場管理棟耐震補強工事や大津川横断水道・ガス共用橋工事などを実施します。  
都市環境の整備については、赤穂城跡公園において、文化財保存整備と合わせ二之丸庭園の整備を進めるほか、野中・砂子

## 安全・安心に生活できるまち

★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

おもいやりに満ちた福祉社会を築く  
①みんなで支え合う地域福祉を進める  
・地域総合支援システム推進事業 ……165万円  
・社会福祉法人権限移譲事務委託経費 ……22万円  
・民間福祉活動活性化促進事業 ……374万円  
・介護保険事業 ……68万円  
・庁舎整備事業 ……2,100万円  
・福祉のまちづくり推進事業 ……1,750万円

②子育てしやすい環境をつくる  
・子育て支援事業 ……5,658万円  
▷アフタースクール子ども育成事業(2,996万円)▷子育て家庭ショートステイ事業(16万円)▷キンダースクール子ども育成事業(81万円)▷絵本図書館整備事業(12万円)▷幼児2人同乗用自転車購入助成事業(180万円)▷子育て情報携帯システム事業(66万円)▷ファミリーサポートセンター事業(180万円)▷保育所子育て支援機能充実事業(54万円)▷要保護児童対策地域協議会推進事業(30万円)▷児童虐待防止啓発事業(93万円)▷出産費助成事業(1,950万円)  
・子ども子育て支援計画策定事業 ……343万円  
★子ども子育て支援新制度認定等事業 ……45万円  
・児童手当 ……8億3,550万円  
・母親クラブ補助金 ……105万円  
・母子家庭就業支援事業 ……134万円  
・保育所運営費(事業経費) ……5,823万円  
★保育士確保対策事業 ……17万円  
▷未就労の保育士有資格者に対する研修外  
・多子世帯保育料軽減事業 ……92万円  
・児童遊園地整備事業 ……325万円  
・子育てバリアフリー化事業 ……82万円  
・児童館整備事業 ……70万円  
・保育所整備事業 ……526万円  
★出会いの広場事業 ……40万円  
▷社会福祉協議会補助  
★寡婦(夫)控除のみなし適用の実施  
▷所得制限のある事業や課税の有無により自己負担を伴う事業等について、婚姻歴のないひとり親家庭に寡婦(夫)控除のみなし適用を行う

③障がい者が自立しやすい環境をつくる  
・自立支援給付 ……7億3,510万円  
▷介護給付等支給事業(7億800万円)▷障害者(児)補装具給付事業(1,080万円)▷自立支援医療費支給事業(1,630万円)  
・障害者(児)福祉推進事業 ……1,463万円  
▷経済援護事業(1,349万円)  
▷日常生活支援事業等(114万円)  
・障害者地域生活支援事業 ……5,004万円  
・心身障害児療育事業 ……643万円  
▷あしたは園事業(458万円)▷西播磨療育事業負担金(185万円)  
・障がい者虐待防止対策支援事業 ……57万円  
・障がい者スポーツ普及事業 ……29万円  
・障がい者就労施設等支援事業 ……27万円  
★軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業 ……20万円  
・障がい福祉計画策定事業 ……210万円  
★第4期赤穂市障がい福祉計画策定  
・障害福祉サービス事業所整備事業 ……140万円

④高齢者が安心して暮らせる環境をつくる  
・高齢者福祉対策事業 ……1,073万円  
・介護支援事業 ……794万円  
▷ヘルプサービス充実事業(306万円)▷生きがいデイサービス事業(450万円)▷介護サービス利用者負担軽減措置事業外(38万円)  
・高齢者住宅改修助成事業 ……997万円  
・わたきり老人等対策事業 ……38万円  
・老人福祉センター利用促進事業 ……87万円  
・在宅介護支援センター運営委託事業 ……560万円

・ひとり暮らし老人等火災警報器購入助成事業 ……8万円  
・敬老長寿ふれあい事業 ……942万円  
・高齢者を守る支えるネットワーク推進事業 ……158万円  
★旧養護老人ホーム整理経費 ……118万円  
・介護老人保健施設整備事業 ……1,471万円  
・介護保険事業 ……35億2,890万円  
▷介護サービス等(31億3,320万円)▷介護予防サービス等(1億5,890万円)▷高額介護サービス(6,900万円)▷特定入所者介護サービス等(1億6,780万円)  
地域支援事業 ……6,823万円  
▷介護予防事業(869万円)▷包括的支援事業(3,787万円)▷任意事業(2,167万円)  
サービス事業 ……1,562万円  
⑤社会保障制度を適切に運営する  
・セーフティネット支援対策事業 ……524万円  
・福祉医療費等助成制度の充実 ……4億2,013万円  
▷母子家庭等医療費(2,212万円)▷乳幼児等医療費(2億2,761万円)▷老人医療費(1,751万円)▷重度障害者医療費(5,956万円)▷高齢重度障害者医療費(8,911万円)▷小児特定疾患医療費(120万円)▷未熟児養育医療費(301万円)  
・他公費負担医療費助成事業 ……62万円  
⑥お互いが尊重し合えるまちをつくる  
・人権啓発事業 ……145万円  
・隣保館整備事業 ……85万円

▷施設整備・医療機器設備(3億3,110万円)  
生活の安全・安心を確保する  
①災害に強いまちをつくる  
・大規模災害対策用消防資材整備事業 ……130万円  
・西播磨広域防災備蓄物資整備事業 ……100万円  
・救援物資対策経費 ……55万円  
・コミュニティ防災訓練経費 ……43万円  
・防災総合訓練経費 ……100万円  
・防災意識普及啓発事業 ……21万円  
・被災者支援システム運営経費 ……14万円  
・ひょうご防災ネットシステム運営経費 ……145万円  
★地域防災計画改定事業 ……260万円  
▷地震・津波対策外  
・防災ハザードマップ作成事業 ……54万円  
・住宅耐震改修助成事業 ……45万円  
・簡易耐震診断推進事業(30戸) ……91万円  
・耐震診断推進事業 ……[再掲 1,270万円]  
・新型インフルエンザ感染防止対策事業 ……100万円  
・河川改修事業 ……1,500万円  
★有年原排水施設整備外  
・基幹水利施設ストックマネジメント事業 ……[再掲 3,665万円]  
★農村地域防災減災事業 ……[再掲 1,290万円]  
・老朽ため池整備事業 ……[再掲 200万円]  
・震災対策農業水利施設整備事業 ……1,801万円  
▷亀谷池外  
・治山事業 ……150万円  
・津波・高潮危機管理対策事業 ……1,061万円  
・急傾斜地崩壊対策事業 ……250万円  
▷目坂地区、有年横尾地区  
・防災行政無線整備事業 ……2億7,550万円  
★水防倉庫整備事業 ……200万円  
▷坂越第1水防倉庫外  
・耐震対策補強事業 ……[再掲 3億6,020万円]  
★幼稚園舎改築事業 ……[再掲 2,930万円]  
・大型管理備品等整備事業(小学校) ……[再掲 100万円]  
★雨水貯留タンク設置  
★雨水貯留タンク設置助成金 ……30万円  
▷雨水貯留タンクの購入・設置費用の2/3を助成(限度額3万円)

②消防・救急救助体制を充実する  
★消防団員安全整備事業 ……270万円  
▷保安帽及び防寒衣  
・救急業務高度化推進事業 ……829万円  
・AED整備事業 ……301万円  
★高度救命処置訓練資器材整備事業 ……256万円  
▷訓練資器材更新  
★救助用装備整備事業 ……207万円  
▷救助用装備品整備外  
・消防施設整備事業 ……1億4,686万円  
▷消防ポンプ自動車(赤穂消防署、第11分団)▷はしご付消防自動車オーバーホール(赤穂消防署)▷高規格救急車(上郡消防署)  
★通信指令設備整備  
★消防団詰所整備(第4分団用地取得外)  
▷小型動力ポンプ整備事業(有年牟礼地区外)、消火栓設置  
③交通安全・防犯意識を高める  
・自主防犯活動推進事業 ……41万円  
・暴力団対策事業補助金 ……98万円  
・地域サポート安全対策事業 ……153万円  
・交通安全施設等整備事業 ……819万円  
・公共灯整備事業 ……530万円  
④消費生活の安全を守る  
・消費者行政活性化事業 ……293万円  
・リサイクル運動推進事業 ……[再掲 48万円]

保健・医療サービスを充実する  
①生涯にわたる健康づくりを進める  
・健康づくりの推進 ……436万円  
・予防接種費助成事業 ……400万円  
▷肺炎球菌予防接種、風しん予防接種  
・新型インフルエンザ感染防止対策事業 ……[再掲 100万円]  
・母子保健対策の推進 ……824万円  
▷子育て応援隊活動事業(89万円)  
★育児健康支援事業(165万円)▷母子訪問指導(75万円)▷乳幼児健診(412万円)▷むし歯予防対策事業(83万円)  
・健康増進対策の推進 ……9,992万円  
▷特定保健指導(情報提供、動機づけ支援、積極的支援に区分して指導・608万円)▷健康診査(生活習慣病健診、女性のがん検診外・9,298万円)▷歯科健診(歯周病健診・87万円)  
・健康診査費等助成事業 ……3,784万円  
▷妊婦健康診査費(3,069万円)▷産婦健康診査費(80万円)▷乳児健康診査費(283万円)▷特定不妊治療費(352万円)  
★健康管理システム整備事業 ……311万円  
・あこう食育推進事業 ……68万円  
★赤穂すこやかセンター(仮称)整備事業 ……[再掲 2億2,800万円]  
▷子育て支援活動センター等を併設した保健福祉施設の整備  
・国民健康保険税  
★課税限度額・税率の改正  
▷医療分・後期高齢者支援金(負担軽減を図るため、財政調整基金から1億1,500万円繰入れ)▷介護納付金分(負担軽減を図るため、一般会計から6,400万円繰入れ)  
★公益保険料軽減対象世帯の拡充  
▷5割軽減及び2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の引き上げ

②安心できる地域医療体制をつくる  
・休日急患診療委託料 ……378万円  
・西播磨病院群輪番制運営委託事業 ……2,006万円  
・市民病院整備事業 ……6億3,032万円  
★第二期基本構想の推進 基本設計、立体駐車場の整備(2億9,922万円)

また、地震対策として、住宅の耐震化が有効であることから、引き続き住宅耐震改修への助成や簡易耐震診断推進事業を実施します。  
消防・救助体制の充実・強化については、赤穂消防署及び第11分団の消防ポンプ自動車の更新、はしご付消防自動車のオーバーホール、第4分団詰所移転新築のための用地取得、通信指令設備更新に向けての実施設計などのほか、新たに救助活動用装備品や訓練に必要な資機材の充実を行います。  
また、救急体制については、上郡消防署の高規格救急車の更新、気管挿管や薬剤投与に対応できる救急救命士の養成などにより高度化を推進するとともに、AED整備事業として、救

市民の防災意識の高揚として、住民の皆様や自主防災組織、消防団との連携・協力による地域での防災訓練、地域ごとに行っているコミュニティ防災訓練を継続して実施し、防災意識の啓発と防災行動力の向上を図ります。  
また、地震対策として、住宅の耐震化が有効であることから、引き続き住宅耐震改修への助成や簡易耐震診断推進事業を実施します。  
消防・救助体制の充実・強化については、赤穂消防署及び第11分団の消防ポンプ自動車の更新、はしご付消防自動車のオーバーホール、第4分団詰所移転新築のための用地取得、通信指令設備更新に向けての実施設計などのほか、新たに救助活動用装備品や訓練に必要な資機材の充実を行います。  
また、救急体制については、上郡消防署の高規格救急車の更新、気管挿管や薬剤投与に対応できる救急救命士の養成などにより高度化を推進するとともに、AED整備事業として、救

# 施政方針にみる 新年度の主要施策と 予算のあらまし

農業振興については、農地流動化を促進しながら、農業経営基盤強化育成事業、新規就農者や認定農業者の経営支援事業などによる農業経営者の育成、経営所得安定対策制度の円滑な実施に努めます。

また、猪や鹿等の野生動物による農作物被害を防止するため、野生動物対策事業に引き続



補給を行うなど、資金融資の円滑化を推進し、経営基盤の安定化のための支援をします。

農場産品の活用については、地場農産物の直売イベントの開催支援や稲作体験農園の設置、米粉の利用促進など、地産地消の推進を図るとともに、赤穂緞通を伝承する会の活動を支援し、赤穂ブランドの育成にも取り組めます。

また、猪や鹿等の野生動物による農作物被害を防止するため、野生動物対策事業に引き続

き取り組むほか、新たに耕作放棄地の発生状況や鳥獣侵入防護柵の設置状況の調査を実施します。さらに、農地や水路などの農業基盤の保全管理や農村環境の保全を推進します。

施設整備としては、農村地域防災減災事業として、西有年地区の坂折池などにおいて施設整備を行うとともに、震災対策事業として、大津地区の亀谷池などの耐震診断調査を実施するほか、国道250号坂越道路路整備事業に伴う高野排水機場の移設工事を推進します。

水産振興については、漁業の生産性の向上を図るため、アサリの種苗放流、漁船損害保険の掛金に対する助成を行うとともに、引き続き干潟保全活動に対する支援を行います。

施設整備としては、津波・高潮危険管理対策事業として、坂越漁港海岸保全施設耐震劣化調査を実施するほか、漁港整備事業として樋門及び簡易係留施設の整備を行います。

観光振興については、赤穂観光アクションプログラムに基づき、観光協会をはじめ、JR、関係団体、近隣市町とも連携して、多彩なイベント等を実施するほか、観光周遊バス「陣たくん号」の運行やマスコットキ

き取り組むほか、新たに耕作放棄地の発生状況や鳥獣侵入防護柵の設置状況の調査を実施します。さらに、農地や水路などの農業基盤の保全管理や農村環境の保全を推進します。

施設整備としては、農村地域防災減災事業として、西有年地区の坂折池などにおいて施設整備を行うとともに、震災対策事業として、大津地区の亀谷池などの耐震診断調査を実施するほか、国道250号坂越道路路整備事業に伴う高野排水機場の移設工事を推進します。

水産振興については、漁業の生産性の向上を図るため、アサリの種苗放流、漁船損害保険の掛金に対する助成を行うとともに、引き続き干潟保全活動に対する支援を行います。

施設整備としては、津波・高潮危険管理対策事業として、坂越漁港海岸保全施設耐震劣化調査を実施するほか、漁港整備事業として樋門及び簡易係留施設の整備を行います。

観光振興については、赤穂観光アクションプログラムに基づき、観光協会をはじめ、JR、関係団体、近隣市町とも連携して、多彩なイベント等を実施するほか、観光周遊バス「陣たくん号」の運行やマスコットキ

## 産業と交流が盛んな活力のあるまち

★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

- 活力ある産業を形成する**
- ①地域産業を振興する
- 産業活性化支援事業 ……1,703万円
  - 新規中高卒者雇用奨励金交付事業 ……300万円
  - ▷新規中高卒者の正規雇用1人あたり12万円を支給
  - 企業誘致促進事業 ……122万円
  - 工場立地促進奨励金交付事業 ……725万円
- ②商業の振興を図る
- 商店街振興対策事業 ……109万円
  - 中心市街地にぎわいづくり事業 ……970万円
  - ▷まるごとフェスタ事業補助▷加里屋さんもく桑市事業補助▷赤穂情報物産館開設事業補助
  - ★市街地にぎわいづくり助成事業補助
  - ★商業活性化対策事業 ……100万円
  - ▷空き店舗等活用事業補助金
  - 中小企業振興事業補助金 ……356万円
  - ▷商工会議所活動費補助金外
  - 中小企業経営安定資金融資預託金 ……3億3,000万円
  - 中小企業経営安定資金利子補給 ……100万円
  - 中小企業経営安定資金融資信用保証助成 ……450万円
- ③地場産品を使った赤穂の魅力を創出する
- 地産地消推進事業 ……200万円
  - 地場産業育成事業 ……72万円
- ④農業・漁業を活性化
- 水田利用振興事業 ……838万円
  - 野生動物対策事業 ……1,020万円
  - 環境保全型農業支援事業 ……48万円
  - ★人・農地問題解決推進事業 ……705万円
  - ▷地域農業支援組織強化連携事業▷人・農地プラン作成事業▷農地集積協力金事業
  - 経営体育成支援事業 ……300万円
  - 新規就農総合支援事業 ……300万円
  - 農村地域活性化推進事業 ……70万円
  - ★農地現状調査事業 ……200万円
  - ▷耕作放棄地現地調査事業▷鳥獣侵入防護柵設置状況調査事業
  - 農地・水保全管理事業 ……995万円
  - 水産振興事業 ……525万円
  - 土地改良事業補助 ……4,160万円
  - 農業用施設整備事業 ……1,415万円

- ・幹幹水利施設ストックマネジメント事業 ……3,665万円
  - ★農村地域防災減災事業 ……1,290万円
  - ▷坂折池外整備(西有年地区外)
  - 高野排水機場整備事業 ……3,000万円
  - 土地改良施設維持管理適正化事業 ……1,200万円
  - 漁港整備事業 ……940万円
  - ★施設整備(490万円)★簡易係留施設整備(450万円)
- ⑤観光の振興を図る
- 義士祭奉賛会補助金 ……2,971万円
  - ★義士祭前夜祭事業(530万円)▷忠臣蔵交流物産市(270万円)▷義士祭宣伝事業外(936万円)★義士祭パレード等事業(735万円)▷義士祭観覧席設置事業(200万円)▷忠臣蔵ウィーク事業(300万円)
  - 入湯税引当観光振興事業補助金 ……1,715万円
  - 観光アクションプログラム推進事業 ……1,298万円
  - ▷観光キャンペーン事業(200万円)▷観光協会事業補助(588万円)▷観光イベント等補助(349万円)▷観光ボランティアガイド育成事業(25万円)▷観光客おもてなし事業(20万円)▷広域観光推進事業(66万円)
  - ▷J R赤穂線沿線地域活性化連絡会議負担金(50万円)
  - ★海水浴場開設経費 ……20万円
  - ▷看板整備
  - 温泉源掘削事業補助金 ……502万円
  - 観光施設整備事業 ……730万円
  - ★赤穂情報物産館壁面看板設置外
- ⑥就労環境を充実する
- 高齢者就業機会確保事業 ……805万円
  - 雇用促進セミナー等事業 ……34万円
  - 勤労者住宅資金融資預託金 ……5,600万円

- ③国際理解を深める
- 国際交流推進事業 ……136万円
  - ★国際交流協会20周年記念事業補助外
  - 国際理解教育推進事業 ……1,935万円
  - ▷外国人講師による英語教育(小学校1名、中学校2名)▷ロッキングハム市小学生作品交流
  - 中学生海外派遣事業 ……133万円
  - ▷準備調査経費
- ④定住を促進する
- 定住支援推進事業 ……1,452万円
  - ★東京あこうのつどい開催経費 ……195万円
  - ▷情報交換等による地域活性化及び定住促進等
- 交流基盤を整備する**
- ①公共交通の利便性を確保する
- 市内循環バス運行事業 ……1,035万円
  - ★地域公共交通調査検討経費 ……54万円
  - ▷タクシー活用検討部会(仮称)経費外
- ②利便性の高い道路網を構築する
- 都市計画道路変更事業 ……150万円
  - ▷都市計画道路変更・廃止業務委託
  - 都市計画街路事業 ……1億2,550万円
  - ▷赤穂大橋線＝物件補償外
  - 生活道路整備 ……3億6,570万円
  - ▷中洲幹線外
- 地域情報化を推進する**
- ①地域情報化を推進する
- 高度情報化推進事業 ……1億1,200万円
  - 事務改善経費 ……1,690万円
  - 住民基本台帳ネットワークシステム管理経費 ……197万円
  - 戸籍事務電算化事業 ……4,870万円
  - 戸籍システム改修経費 ……486万円
  - ★本人通知管理システム導入経費
  - ★市例規集情報化推進事業 ……983万円
  - 情報教育推進事業 ……7,901万円
  - 図書館情報化システム事業 ……1,560万円
  - 議会情報化推進事業 ……339万円
  - 情報基盤整備事業 ……4,826万円
  - ★光ファイバー専用回線使用料外

- 多様な交流を推進する**
- ①近隣市町村との広域連携を進める
- 定住自立圏構想推進経費 ……12万円
  - ▷圏域内協議経費外
- ②特色ある地域間交流を進める
- 義士親善友好都市交流事業 ……210万円
  - 文化交流事業 ……45万円
  - ▷地域間文化交流事業(笠間市外)

## 自然と共生する住みよいまち

★印＝新規(拡充)事業 (1万円未満四捨五入)

- 自然と共生するまちをつくる**
- ①豊かな自然環境を保全する
- 環境保全型農業支援事業 ……[再掲 48万円]
  - 山地緑化事業 ……935万円
  - ▷造林地保育事業(490万円)▷遊歩道保育事業(185万円)▷遊歩道整備事業(260万円)
  - 赤穂ふれあいの森整備事業 ……470万円
- ②さわやかな生活環境を保全する
- 環境基本計画推進事業 ……178万円
  - 河川台帳整備事業 ……250万円
  - 公共下水道事業 ……10億1830万円
  - ▷汚水管渠整備外(有年土地区画整理地区 A = 1.5ha 外)▷雨水施設整備外(御崎ポンプ場改築・電気設備更新工事外)▷設備更新外(下水管理センター電気設備更新工事外)
  - 特定環境保全公共下水道事業 ……2,890万円
  - ▷汚水管渠整備(公共ます改良工事外)
  - ▷設備更新(清水谷中継ポンプ場機械設備工事)
  - 農業集落排水事業 ……5,450万円
  - 平成26年度末水洗化率 98.5%
- |  |
|--|
| 平成26年度末(生活排水対策事業すべてを含む) 供用面積 1,572.7ha 人口普及率 99.6% |
|--|

- ③地球環境にやさしいまちをつくる
- 住宅用太陽エネルギー利用機器設置補助事業 ……1,480万円
  - 資源ごみ集回回収奨励事業 ……1,100万円
  - ごみ減量・資源化推進事業 ……156万円
  - 資源ごみ持ち去り防止対策事業 ……121万円
  - リサイクル運動推進事業(消費者協会補助) ……48万円
  - 庁舎整備事業 ……[再掲 900万円]
  - ★LED照明設置 980式
  - 公共灯整備事業 ……[再掲 280万円]
  - 太陽光パネル設置事業 ……[再掲 2,530万円]
  - ごみ処理施設整備事業 ……4億4,000万円
  - 不燃物最終処分場整備事業 ……270万円
- 魅力ある都市空間を形成する**
- ①快適な住環境をつくる
- 公営住宅環境整備事業 ……5,870万円
  - 密集住宅市街地整備促進事業 ……[再掲1億4,460万円]
  - 地域住宅等整備事業 ……[再掲 6,300万円]
  - 上水道の整備 ……8億7,352万円
- ②水とみどり豊かな都市環境をつくる
- 赤穂城跡公園整備事業 ……1億550万円
  - 野中・砂子公園整備事業 ……1億2,540万円
  - 都市公園整備事業 ……1,170万円
  - 都市公園安全・安心対策事業 ……1億50万円

- 城南緑地施設整備事業 ……370万円
  - 尾崎・御崎地区都市再生整備事業 ……4億9,560万円
- ③自然・歴史・文化と調和した景観をつくる
- 快適環境推進事業 ……47万円
- 質の高い都市機能を整備する**
- ①土地の利活用を適正に進める
- 都市計画デジタル図管理事業 ……207万円
  - 都市計画基礎調査事業 ……100万円
  - まちづくり支援事業 ……20万円
  - 地籍調査事業 ……1,725万円
- ②良好な市街地の整備を進める
- 土地区画整理事業 ……4億5,825万円
  - ▷有年地区(55.0ha 区画道路築造工事外=3億5,200万円)▷野中・砂子地区(45.2ha 組合補助金外=7,625万円)▷浜市地区(22.2ha 市助成金=3,000万円)
  - ★坂越駅周辺地区都市再生整備事業 ……4億8,317万円
  - ▷区画道路整備外
  - ▷赤穂すこやかセンター(仮称)整備
  - ★有年駅周辺地区都市再生整備事業 ……1億6,210万円
  - ▷区画道路整備外
  - 密集住宅市街地整備促進事業 ……1億4,460万円
  - 地域住宅等整備事業 ……6,300万円

質の高い都市機能の整備

土地利用については、北野中、砂子、浜市地区において、加里屋川の早期整備に向けた先行地籍調査事業を継続実施します。

土地区画整理事業については、有年地区において区画道路



公園の用地取得や赤穂城南緑地野球場の整備、テニスコート整備に向けての実設計及び都市公園の遊具の更新などにも取り組めます。

また、尾崎・御崎地区都市再生整備事業において、赤穂海浜公園の北側にスポーツ・レクリエーション拠点としての機能を有する交流とふれあいの場として赤穂海浜スポーツセンターの整備を進めます。

活力ある産業の形成

地域産業の振興と雇用の場を確保するため、工場立地法準則条例に基づく市内企業の設備投資に向けた取り組みの促進や、工場立地促進条例に基づく立地企業への支援の継続などによ

第3の柱

産業と交流が盛んな活力のあるまちづくり

また、JR坂越駅周辺については、安全で快適な市街地の創造を図るため、坂越駅周辺地区都市再生整備事業に着手し、併せて子育て環境の充実と健康づくりを推進するため、赤穂すこやかセンター(仮称)の整備に取り組みます。

さらに、JR有年駅周辺にぎわいの再生と安全で快適な市街地の創造を図るため、有年駅周辺地区都市再生整備事業にも着手します。

築造工事や物件移転補償などを行います。野中・砂子地区や浜市地区においては、組合へ補助金などを交付することにより、区画道路築造工事など、事業の進捗を図ります。

また、JR坂越駅周辺については、安全で快適な市街地の創造を図るため、坂越駅周辺地区都市再生整備事業に着手し、併せて子育て環境の充実と健康づくりを推進するため、赤穂すこやかセンター(仮称)の整備に取り組みます。

また、中小企業対策については、中小企業経営安定資金融資信用保証料の助成や中小企業経営安定資金融資に係る利子

て企業誘致を推進するほか、住リフォーム助成制度の拡充、ものづくり産業の活性化を図るための啓発活動を行い、市内経済の活性化に努めます。

商業振興については、中心市街地において、商工会議所等と連携して、いきつき広場での「加里屋さんもく桑市」や「食の赤穂まるごとフェスタ」の開催、忠臣蔵関係の展示を加えた赤穂情報物産館を引き続き開設するほか、新たに店舗が合同で実施するイベントに助成するなど、商業の活性化と観光振興の充実・強化を図り、地域のにぎわいづくりを推進します。

また、中心市街地において、商工会議所等と連携して、いきつき広場での「加里屋さんもく桑市」や「食の赤穂まるごとフェスタ」の開催、忠臣蔵関係の展示を加えた赤穂情報物産館を引き続き開設するほか、新たに店舗が合同で実施するイベントに助成するなど、商業の活性化と観光振興の充実・強化を図り、地域のにぎわいづくりを推進します。



# 施政方針にみる 新年度の主要施策と 予算のあらまし

## 生涯にわたり夢を育むまち

**教育環境を整える**

① **幼児・義務教育を充実する**

- ・新教育課程研究推進事業外 ……191万円
- ・教育研究所経費 ……130万円
- ・コミュニティ・スクール推進事業 ……59万円
- ・命を守る教育推進事業 ……47万円
- ・キャリア教育推進事業 ……132万円
- ・子どものちから応援事業 ……93万円
- ・心いきいき推進事業 ……966万円
- ★いじめ・暴力問題等防止対策推進事業 ……363万円

▷学校第三者評価活動外

- ・国際理解教育推進事業 ……[再掲 1,935万円]
- ・中学生海外派遣事業 ……[再掲 133万円]
- ・コンピュータCAI研究奨励事業 ……221万円
- ・情報教育推進事業 ……[再掲 7,901万円]
- ・地域サポート安全対策事業 ……[再掲 153万円]
- ・読書指導の振興と図書整備事業 ……502万円
- ・幼稚園預かり保育事業 ……3,610万円

▷10幼稚園で実施、保育時間終了時から午後6時まで

▷早朝及び長期休業日の預かり保育の実施

- ・幼稚園未就園児保育事業 ……46万円
- ▷未就園児(3歳児)親子を対象とした体験保育
- ・放課後子ども教室推進事業 ……262万円
- ・多子世帯保育料軽減事業 ……48万円
- ・学校給食モニタリング事業 ……24万円

★学校給食標語コンテスト開催経費 ……20万円

▷市内小中学生を対象

- ・大型備品整備事業 ……1,200万円
- ★小学校管理備品等整備外
- ★学校施設安全対策事業 ……3,800万円
- ▷消防用設備等改修外
- ★デジタルテレビ整備事業 ……312万円
- ▷小学校
- ・耐震対策補強事業 ……3億5,750万円
- ・大規模改造事業 ……6億5,970万円
- ・太陽光パネル設置事業 ……2,530万円

- ・坂越中学校整備事業 ……2,500万円
- ★幼稚園舎改築事業 ……2,930万円
- ▷実施設計(赤穂幼稚園、塩屋幼稚園、尾崎幼稚園)
- ・給食センター整備事業 ……1,860万円
- ② **特別支援教育を充実する**
- ・特別支援教育推進事業 ……1,763万円
- ★特別支援教育指導補助員配置事業
- ▷特別支援教育振興事業
- ★特別支援教育ICT推進事業
- ・特別支援教育事業 8幼稚園 ……1,600万円
- ③ **信頼される学校園づくりを進める**
- ・教育委員会だより発行事業 ……31万円
- ・「トライやる・ウィーク」推進事業 ……377万円
- ・環境体験事業 ……175万円
- ・中学生地域貢献活動推進事業 ……40万円
- ④ **若い力を健全に育成する**
- ・青少年健全育成推進事業 ……197万円

**生涯学習・スポーツ活動を推進する**

① **生涯学習を充実する**

- ・生涯学習推進専門員設置事業(1名) ……186万円
- ・子育て学習活動推進事業 ……353万円
- ・公民館活動の充実 ……743万円
- ・高齢者にやさしい公民館づくり事業 ……100万円
- ・耐震診断推進事業 ……1,270万円
- ▷坂越公民館★市民会館
- ・図書館事業の普及 ……3,276万円
- ・公民館整備事業 ……5,657万円
- ★施設整備外
- ・耐震対策補強事業 ……270万円
- ▷実施設計(★尾崎公民館)
- ・市民会館整備事業 ……310万円
- ② **スポーツ活動を推進する**
- ・市民総合体育館及び城南緑地運動施設等管理委託金 ……6,867万円
- ・体育振興事業(体育協会補助金外) ……164万円
- ・スポーツ先進都市推進事業 ……270万円

- ・スポーツ推進計画促進事業 ……28万円
- ・忠臣蔵旗少年剣道大会(第26回) ……230万円
- ・近畿高等学校剣道選抜大会(第8回) ……100万円
- ・赤穂義士杯青少年柔道大会(第8回) ……100万円
- ・赤穂義士旗争奪親善ゲートボール大会(第19回) ……5万円
- ・坂越湾ヨットレース(第5回) ……10万円
- ・赤穂シティマラソン大会開催経費(第4回) ……1,800万円
- ★赤穂市長旗争奪少年野球大会開催経費(第1回) ……40万円
- ・体育施設整備事業 ……733万円
- ・野外活動センター整備事業 ……275万円
- ・尾崎・御崎地区都市再生整備事業 ……[再掲 4億8,500万円]

**個性ある地域文化を創造する**

① **歴史・伝統文化を継承し活用する**

- ・地域文化財調査事業 ……157万円
- ★市史等編さん事業 ……208万円
- ▷図説赤穂市史編さん事業外
- ・文化財保存顕彰事業 ……20万円
- ・文化財普及活用事業 ……175万円
- ・文化財公開活用事業 ……490万円
- ・赤穂城跡整備事業 ……2,710万円
- ・赤穂城跡公園整備事業 ……[再掲 1億550万円]
- ・埋蔵文化財調査事業 ……830万円
- ・文化財施設整備事業 ……2,270万円
- ★沖田遺跡公園屋根葺替外
- ・民俗資料館整備事業 ……430万円
- ・歴史博物館整備事業 ……620万円
- ・海洋科学館整備事業 ……150万円
- ② **文化芸術活動を推進する**
- ・文化会館自主事業助成(文化とみどり財団補助) ……2,323万円
- ・赤穂国際音楽祭開催事業 ……700万円
- ・文化会館整備事業 ……690万円

★印＝新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

キャラクター「陣たくん」を活用し、PR活動を積極的に行うとともに、観光ボランティアガイドの育成についても取り組みます。また、日曜日開催となる第111回義士祭についても、一層の充実を図り、積極的に観光客の誘致に努めます。

就労環境の整備については、高齢者就業機会確保事業への助成などを行い、勤労者福祉の増進に努めます。

### 多様な交流の推進

広域連携については、東備西播定住自立圏形成推進協議会をはじめ、西播磨市町長会、兵庫岡山両県隣接市町村地域振興協議会などを通じて、近隣市町村との連携、協力を推進します。

地域間交流については、笠間市及び山鹿市とのスポーツや文化活動などを通じた姉妹都市交流をはじめ、義士祭における忠臣蔵交流物産市の開催や東京スカイツリーでの忠臣蔵サミット都市リレーキャンペーンなどを通じて、全国の忠臣蔵ゆかりの自治体との交流を一層推進します。

国際理解の推進については、国際交流協会設立20周年記念事業の開催などにより、地域の国際化を推進するとともに、小・中学校において、引き続き外国人英語講師3名を配置し、国際理解教育を推進します。

定住の促進については、都市部での定住相談会を通じ「住むの



### 交流基盤の整備

公共交通の確保と利便性の向上については、定住自立圏共生ビジョンに基づく圏域バス「ていじゅうろう」を運行するとともに、この圏域バスを活用した市内循環バス「ゆらのすけ」の増便を図るほか、地域の実情にあった交通体系についてさらに検討します。

生活道路の整備としては、磯浜橋歩道橋の新設や中洲幹線道路改良工事などを実施するほか、都市計画街路の整備として、赤穂大橋線に係る用地買収・物件移転補償などを実施します。

なお、長期未着手の都市計画道路については、検証方針に基づき、都市計画変更手続きを進めます。

また、国道2号のバイパス建設や坂越大橋を含むバイパス部分など国道250号の改良、交通安全施設の早期整備について、国、県に引き続き要請し、事業の促進を図ります。

### 地域情報化の推進

市内公共施設への光ファイバー整備後の取り組みとして、インターネットなどの活用による、住民や商店等からの積極的な情報発信を促し、住民と行政住民相互の繋がりの拡大を図ります。また、小・中学校におけるインターネットなどを活用した情報教育を推進するとともに、図書館における電子書籍の整備拡大などにより、電子図書館サービスの充実を図ります。

### 第4の柱

### 生涯にわたり夢を育むまちづくり

### 教育環境の整備

教育環境の整備推進については、教育振興基本計画(赤穂教育プラン)に基づき、質の高い教育、人づくりを推進し、子どもたちが「こころ豊かな人間性」と「生きる力」を育むことができるよう総合的・計画的に推進します。

幼児教育の充実については、幼児を持つ家庭や地域との連携

て動く非行防止活動を推進するなど、教育委員会、学校、家庭、地域、関係機関が連携し、地域社会全体で、いじめや非行防止対策に取り組みます。

施設整備としては、尾崎小学校、御崎小学校、高雄小学校及び赤穂中学校における大規模改造工事をはじめ、尾崎小学校、高雄小学校及び赤穂中学校、赤穂西中学校、赤穂東中学校並びに赤穂西幼稚園、御崎幼稚園、坂越幼稚園、高雄幼稚園において、耐震対策補強工事を実施するほか、平成27年度中の市内全小・中学校の耐震化に向け、計画的に実施設計を行います。なお、赤穂幼稚園、塩屋幼稚園及び尾崎幼稚園については、改築に向け実施設計を行います。

また、大規模改造事業と合わせ太陽光パネルを計画的に整備するため、高雄小学校に太陽光パネルを設置するとともに、御崎小学校の実設計を行います。

さらに、デジタル教材等を活用した、新たな授業を展開するため、小学校の教室にデジタルテレビを設置します。

特別支援教育の充実については、発達に障がいのある子どもに対する支援として、特別支援教育指導補助員を増員配置す



るほか、ICT教育推進の一環として、タブレットを活用した体験的な授業づくりを実践するとともに、幼稚園においても加配教諭を配置し、障がいの特性に応じた適切な指導を行います。

また、信頼される学校園づくりとして、コミュニティ・スクールの推進、オープンスクールや「トライやる・ウィーク」推進事業、環境体験事業や地域貢献活動推進事業などを通して、引き続き地域の人々とのふれあいを深め、人的資源を活用した地域に開かれた教育活動を進めます。

若い力の健全育成としては、青少年育成推進委員と連携しながら、地域と協働して啓発活動などに取り組みとともに、不

を深めるとともに、幼児の「生きる力」の基礎を育み、一人ひとりの発達や特性に応じたきめ細やかな教育を推進します。

このため、家庭の教育力を向上させるための施策を総合的に推進するとともに、保育士の確保に努めるなど、保育所、幼稚園での子育て環境の整備を積極的に展開します。

義務教育の充実については、研究校の指定や教職経験年数に応じた研修会等を通して教職員の資質と指導力の向上を図り、教科における基礎的・基本的内容を確実に定着させるなど、教育活動の充実を図ります。

また、社会体験やボランティア活動などを通じて児童・生徒の勤労観・職業観を醸成するとともに、引き続き将来への夢や希望を育むキャリア教育推進事業に取り組みほか、人権教育・道徳教育の充実にも努め、救急救命や防災・防犯教育などを通じて命を守り、自他を大切にすることができるよう態度を育む教育を進めます。

なお、いじめ問題を含めた非行防止のための施策として、「第三者委員会」からの最終提言を受け、学校の組織力の強化や教師の授業力の向上に努めるとともに、子どもたちが主体になっ

# 施政方針にみる 新年度の主要施策と 予算のあらまし

登校などの対策については、関西福祉大学や関係機関との連携を深め、教育相談やこころの教室相談員の配置など、指導・相談活動の充実を努めます。

**生涯学習・スポーツ活動の推進**

すべての市民が生涯にわたって自発的・主体的に学ぶことができる学習機会を提供するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための人材の育成や活動の場の創出を進め、生涯学習の充実を図ります。

生涯学習の拠点である中央公民館や各地区公民館においては、体系的な学習機会の場を提供するため、子ども教室、パソコン講座や外国語講座、高齢者生きがい創造事業などを引き続き開催するほか、高齢者大学、千種川カレッジ及び特色ある地区公民館事業を実施し、多様化する市民ニーズに応えます。また、耐震診断結果を受けて、尾崎公民館耐震対策補強工事に向けて実施設計を行うほか、御崎公民館施設整備工事などを実施します。

子育て学習活動推進事業については、子育て悩み相談や子育てグループの育成を図るほか、各地区公民館での子育て出前講

座を継続実施します。

図書館については、子ども読書活動推進計画に基づき、絵本講座、ブックスタート事業などの読書活動の推進と、子どもの読書環境の整備に努めるほか、周辺地区を対象にしたブック宅配サービスについても引き続き実施します。

スポーツ活動の推進については、スポーツ都市宣言を契機として、新たに整備されつつあるスポーツ・レクリエーション施設をはじめ、恵まれたスポーツ環境を最大限に生かしながら、市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできるよう、スポーツ推進計画を効率的・効果的に推進し、スポーツ活動の場と機

会の充実に努めます。

生涯スポーツの推進については、体育協会、関係スポーツ団体の協力を得て、市民総合体育祭や各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催などを支援するほか、地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及に努めます。

また、スポーツの振興と交流機会の拡大を図るため、新たに少年野球大会を開催するほか、忠臣蔵旗少年剣道大会や赤穂義士杯青少年柔道大会、近畿高等学校剣道選抜大会などを継続実施するとともに、第4回赤穂シテイマラソン大会やグラウンドゴルフ、ゲートボールなどの大会を開催して、スポーツによる元気をまちづくりを推進します。

ています。

このため、質の高い市民サービスを提供していくためには、職員一人ひとりが危機管理能力やコスト意識と経営感覚を身につけるとともに、市民の目線で考え、行動し、市民から信頼される親しまれる人材の育成に努めます。

また、住民票や戸籍謄抄本などの不正取得を抑制するため、本人通知制度を導入するほか、住基カードを利用した自動窓口受付機を設置し、窓口サービスの向上に努めるとともに、コンビニ収納にかかる税目を拡充し納税者の利便性を図ります。

なお、病院事業などの公営企業については、借入資本金の負債計上、みなし償却制度の廃止、退職給付金の計上の義務化などを主な改正内容とする地方公営企業会計制度の見直しに対応します。

本市の財政環境は、依然として基金を取り崩さざるを得ない状況が続いています。第7次赤穂市行政改革大綱に基づき徹底した行政改革を推進し、公共施設における新電力の導入など、今後も行政経費の節減に努めるほか、施策の展開にあたっては、限られた財源の中で、緊急度や必要性などを十分に検

討し、「選択と集中」による財源の重点的・効率的な配分を行い、持続可能な行政基盤の構築に努めます。

最後に、このように市政を取り巻く環境は、引き続き厳しいものがありますが、市民の皆様と協働して「元気で魅力あふれる 将来にわたって輝き続けるまち」を目指して全力を尽くしてまいりますので、格段のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

成熟社会となった今、市民が主体的・積極的にまちづくりに参加し、市民と行政が協働して、誇りと愛着のもてる活力に満ちた地域社会を創造することが求められています。また、市民と行政だけでなく、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりについても推進

団、勤労者芸術文化振興事業などの市民の芸術文化活動に支援を行います。

**第5の柱**

**市民と行政がともに歩むまちづくり**

**市民との協働**

成熟社会となった今、市民が主体的・積極的にまちづくりに参加し、市民と行政が協働して、誇りと愛着のもてる活力に満ちた地域社会を創造することが求められています。また、市民と行政だけでなく、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりについても推進

健全で効率的な  
行財政運営

地方分権の進展や少子高齢化、高度情報化など地方自治体を取り巻く環境が大きく変化している中で、多様化、高度化し、増大する市民ニーズを的確に把握し、果敢にチャレンジする行動力を身につけ、地域の諸課題を解決することが行政に求められ

まちづくり活動の推進については、それぞれの地域の個性を生かした「地区まちづくりビジョン」の実現に向けて、各地区でのまちづくり連絡(推進)協議会の自発的なまちづくり活動を引き続き支援します。

また、住民票や戸籍謄抄本などの不正取得を抑制するため、本人通知制度を導入するほか、住基カードを利用した自動窓口受付機を設置し、窓口サービスの向上に努めるとともに、コンビニ収納にかかる税目を拡充し納税者の利便性を図ります。

なお、病院事業などの公営企業については、借入資本金の負債計上、みなし償却制度の廃止、退職給付金の計上の義務化などを主な改正内容とする地方公営企業会計制度の見直しに対応します。

本市の財政環境は、依然として基金を取り崩さざるを得ない状況が続いています。第7次赤穂市行政改革大綱に基づき徹底した行政改革を推進し、公共施設における新電力の導入など、今後も行政経費の節減に努めるほか、施策の展開にあたっては、限られた財源の中で、緊急度や必要性などを十分に検

討し、「選択と集中」による財源の重点的・効率的な配分を行い、持続可能な行政基盤の構築に努めます。

最後に、このように市政を取り巻く環境は、引き続き厳しいものがありますが、市民の皆様と協働して「元気で魅力あふれる 将来にわたって輝き続けるまち」を目指して全力を尽くしてまいりますので、格段のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

成熟社会となった今、市民が主体的・積極的にまちづくりに参加し、市民と行政が協働して、誇りと愛着のもてる活力に満ちた地域社会を創造することが求められています。また、市民と行政だけでなく、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりについても推進

団、勤労者芸術文化振興事業などの市民の芸術文化活動に支援を行います。

**第5の柱**

**市民と行政がともに歩むまちづくり**

**市民との協働**

成熟社会となった今、市民が主体的・積極的にまちづくりに参加し、市民と行政が協働して、誇りと愛着のもてる活力に満ちた地域社会を創造することが求められています。また、市民と行政だけでなく、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりについても推進

団、勤労者芸術文化振興事業などの市民の芸術文化活動に支援を行います。

成熟社会となった今、市民が主体的・積極的にまちづくりに参加し、市民と行政が協働して、誇りと愛着のもてる活力に満ちた地域社会を創造することが求められています。また、市民と行政だけでなく、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりについても推進

団、勤労者芸術文化振興事業などの市民の芸術文化活動に支援を行います。

**第5の柱**

**市民と行政がともに歩むまちづくり**

**市民との協働**

# 写真で見る予算

## 赤穂すこやかセンター(仮称)整備事業



事業費 **2億2,800万円**  
国庫支出金 7,680万円  
市債 1億3,060万円  
一般財源 2,060万円

保健・福祉の拠点施設として、健康づくりと子育て支援機能を包括した赤穂すこやかセンター(仮称)の整備に着手し、子育て環境の一層の充実を図ります。

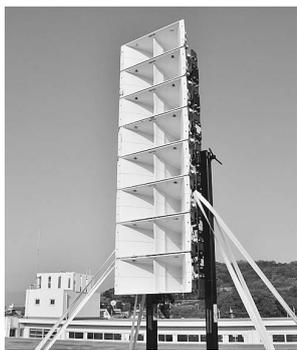
## 尾崎・御崎地区都市再生整備事業



事業費 **4億9,560万円**  
国庫支出金 1億9,696万円  
市債 2億6,560万円  
一般財源ほか 3,304万円

赤穂海浜公園北側の赤穂海浜スポーツセンターの整備などを進め、赤穂海浜公園を核としたスポーツ・レクリエーション拠点としての機能向上を図ります。

## 防災行政無線整備事業



事業費 **2億7,550万円**  
国庫支出金 1億3,765万円  
市債 1億2,380万円  
一般財源 1,405万円

地震、津波、風水害等の自然災害から、市民の生命、身体を守るため、防災行政無線の本体工事に着手し、迅速・的確な情報伝達体制の整備を図ります。

## 育児健康支援事業



事業費 **165万円**  
一般財源 165万円

新たに、父親の育児参加と成人までの健康記録を加えた親子健康手帳の交付を開始するほか、生後5か月児対象のベビーレッスンを実施するなど、継続的な健康管理、育児支援を図ります。

## 義士祭パレード等事業

事業費 **2,521万円**  
一般財源 2,521万円



土曜日開催となる前夜祭では、プロジェクションマッピングを計画し、義士祭当日は、いきつき広場への観覧席の設置やパレードの充実を図るなど、第111回義士祭を盛大に開催します。

## 市民病院整備事業(第二期基本構想の推進)

事業費 **2億9,922万円**  
市債 2億5,920万円  
一般財源 4,002万円

「第二期基本構想」早期実現のため、新病棟建設等基本設計及び立体駐車場等の整備に着手し、「医師にも患者様にも選ばれる病院づくり」を推進します。



## 土地区画整理事業

事業費 **4億5,825万円**  
国庫支出金 2億2,100万円  
市債 2億1,080万円  
一般財源ほか 2,645万円



有年地区、野中・砂子地区、浜市地区における土地区画整理事業を推進し、道路や公園の整備並びに宅地の利用促進を図り、快適で機能的な生活空間を創出します。

## 市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。

このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切にし、美しいまちをきぎます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助け合い、愛の輪をひろげます。
1. きまわりを守り、秩序ある生活をおくります。